

# キャンパス散策（東北公益文科大学）

## 概要



東北公益文科大学

東北公益文科大学は、2001年「庄内に4年制大学を」という地域住民の熱い思いが実り、山形県と庄内14市町村から出資を得て、21世紀の人類がめざすべき「公益」という新たな社会像の構築に資する人材の育成を目標に設立され、今年10周年を迎えます。

「尊重し調和へ」という大学の基本理念のもと、人材育成「知を咲かす」、社会貢献「知をひらく」、公益学の確立「知を結ぶ」の使命を実現するべく活動をおこなっています。

東北公益文科大学は、2001年「庄内に4年制大学を」という地域住民の熱い思いが実り、山形県と庄内14市町村から出資を得て、21世紀の人類がめざすべき「公益」という新たな社会像の構築



課外活動（酒田まつり）



講義風景

## 4つのコース

本学は、公益学部公益学科のみの単科大学です。2年次から学生は、「政策マネジメント」「地域共創」「社会福祉」「環境サイエンス」の4つのコースに分かれ、より専門性の高い学問について学びます。また、専門性を備えつつ、多角的な視野をもって「公益社会」を実現できる人材の育成を図るため、選択したコース以外の学問領域から一定数の専門科目を学ぶことのできるカリキュラムとなっています。さらに、コースの異なる複数の教員が担当する「学融合」のプロジェクト型科目である公益社会演習が今年度よりスタートしています。

## ドミトリー

本学のキャンパス内に、ドミトリーとよばれる学生研修寮があります。寮は、新入生同士が共同生活をおこなっていくなかで「公益」を体験し学ぶ場として、開学と同時に設置されました。コテージ風の建物が20棟（175室）あり、希望する新入生が優先して入寮できます。また、バリアフリーに対応した棟も4棟あります。棟内には、



ドミトリー・外観



ドミトリー・内

共有スペースと個室があり、そのなかで8～9名が共同生活をおこなっています。そのため、プライバシーを保ちながら寮生同士がコミュニケーションをとることができる構造となっています。共有スペースには、エアコン、床暖房、ワイドテレビ、ガスコンロ、冷蔵庫、洗濯機、乾燥機が設置されており、個室には、ベッド、クローゼット、机と椅子、エアコン等が備え付けられています。また各個室には、情報コンセントがあり、インターネットへ常時無料で接続が可能となっています。

寮の運営については、基本的な規則以外、寮生に任せています。共同生活をおこなっていく上でのルールを代表者が中心となって話し合いで決めています。また、全寮生を集めておこなうドミトリーガイダンス、毎月1回

各棟の代表者が集まるドミトリー代表者会議には、教職員も参加し、運営に携わっています。

## 学生共育支援室

本学は、学生支援の目標の1つに、地方小規模大学ならではのきめ細やかな支援を掲げています。4年間の学生生活のなかで、心身の不調や生活面での問題、精神的な悩みなどをかかえることはよくあることです。こういった学生の支援のため、本学では、学生相談室が中心となって対応していました。さらに平成19年度には、文部科学省の学生支援GPに本学のプログラム「インクルージョン社会をめざした大学づくり」が選定され、学生相談室の機能をさらに充実強化するため、学生共育支援室を設置しました。学生共育支援室では現在、専門の職員（臨床心理士2人、社会福祉士1人、看護師1人、特別支援教育士



学生共育支援室・入口



公開講座風景（小山内美智子さんを招いて）

1人)と事務職員(2人)が交代で対応しており、障がいや心理的な問題を抱える学生への支援を他の学生と協働で実施し、双方の人間の成長を促進する事業を実施しています。具体的には、学生相談や特別な支援を要する学生への修学支援、障がいについて理解を深め支援方法について学ぶ公開講座を開講しています。

## キャリア開発センター

学生のキャリア支援については、

- ①社会人・職業人としての力を涵養する
- ②学生の将来の進路選択や決定に向けた活動及び就職活動を支援する

を2本柱に各種の支援をキャリア開発センターが中心となり実施しています。

本学では、学生の職業意識の高揚を図るため、1年次から正課としてキャリア科目を設定しています。1年次は「キャリア入門」、2年次は「キャリアと人生」、3年次は「就職セミナー」、「インターンシップ」でいずれも人気のある科目です。

課外講座として、公務員試験対策やホームヘルパー養成などの講座や資格取得講座を開講しています。保護者会等の支援もあり安価で受講できるので学生の人気は高くなっています。



キャリア開発センター



課外講義風景



課外講義風景

また、本学は地方都市の大学であるため、東京や仙台で開催される合同企業説明会に無料バスを運行するなど、学生の利便性向上に力を入れるとともに、就職情報が集積されている仙台市と山形市に企業訪問を担当する就職アドバイザーを配置し、就職情報の確保に努めています。

本学には後援会組織があり、なかでも企業等の法人会員は、就職に関しても強力な応援団となっており、大学と定期的に懇談会を開催するなど連携を深めています。

センターには、職員4名が常駐し、求人票や企業訪問による就職情報の提供、進路相談、エントリーシートの添削や模擬面接など進路全般に関わる業務を行い、学生から頼りにされています。